

## モニタリングサイト 10000 ガンカモ調査集会

2010年2月28日(日)

会場: 米子水鳥公園

【調査発表会】(13:00~17:00)

■開会 13:00-13:05

■モニタリングサイト 10000 について 13:05-13:20

■発表 13:20-17:00

**第1テーマ:大型湖沼の水鳥調査** 13:20~14:30

中海・宍道湖と琵琶湖について、現地で調査をしている皆さんから、広大な湖沼で調査するときのテクニックや、それぞれの湖沼の水鳥について発表していただきます。

○ 中海・宍道湖(鳥取・島根県)

【土居克夫 日本野鳥の会鳥取県支部】

中海の鳥取県側における越冬初期と中期、後期のガンカモの種組成の違いをご紹介します。

【森茂晃 ホシザキグリーン財団】

西日本有数の大型湖沼である宍道湖での調査方法とその結果をご紹介します。

○ 琵琶湖(滋賀県)【植田潤 湖北水鳥センター】

野鳥の会滋賀支部による滋賀県の水鳥調査は2005年にスタートし、数百名が参加して琵琶湖全周と約100カ所の湖沼の調査を行っています。この調査活動については、これまでわかった水鳥の傾向などについて紹介していただきます。

休憩 14:30~14:45

**第2テーマ:季節や気象条件によるハクチョウ・カモ類の移動** 14:45~17:00

ハクチョウ類とカモ類が秋から春にかけて、どのようなパターンで変化していくかを各サイトの方に紹介していただきます。

○ 新潟平野(新潟県)【佐藤安男・小川龍司 佐潟水鳥湿地センター】

コハクチョウの最大の越冬地である新潟平野の4つの湖沼(佐潟、鳥屋野潟、瓢湖、福島潟)で毎週カウントしているハクチョウ調査のデータから、コハクチョウの年変化や季節変化について紹介していただきます。

○ 八幡川河口(広島県)【日比野政彦 モニタリングサイト 1000 調査員】

広島県広島市の八幡川河口は広島県有数の探鳥地です。シーズンを通してのカモ類の様子について紹介していただきます。

○ 玉島下水処理場(岡山県)【山崎充茂・法子 渡り鳥飛来状況調査調査員】

岡山県倉敷市の玉島下水処理場は、全国40カ所で毎月3回のガンカモ調査をしている「渡り鳥飛来状況調査調」の調査地です。カモ類の季節変化について紹介していただきます。

○ カモ類の飛来パターンとハクチョウの幼鳥率と個体数変化【神山和夫 バードリサーチ】

カモ類の季節変化について、全国の調査地からの報告を整理してお話しします。日本白鳥を愛する会の調査記録から、1990年以降のハクチョウの幼鳥比率についてもご紹介します。

**【懇親会】(18:00~20:00)**

米子市内の会場に移動します。